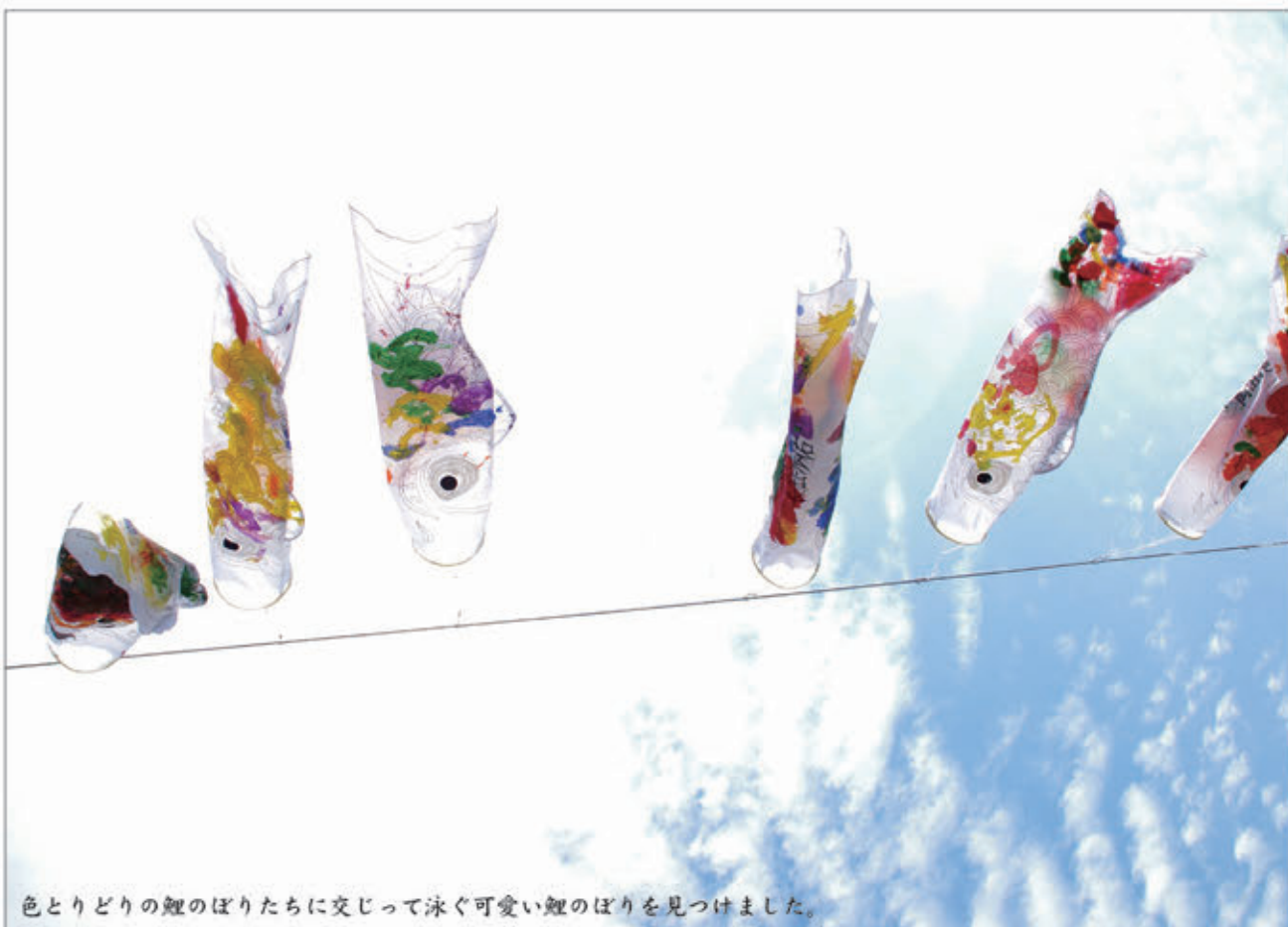


シルバー狭山

THE SAYAMA SILVER HUMAN RESOURCES CENTER

公益社団法人(埼玉県知事認定)
狭山市シルバー人材センター

〒350-1304
狭山市狭山台1丁目21番地
電話 04(2935)4312
FAX 04(2999)6116
e-mail sayama@sjc.ne.jp
<http://webc.sjc.ne.jp/sayama/>



色とりどりの鯉のぼりたちに交じって泳ぐ可愛い鯉のぼりを見つけました。

川越 大正浪漫夢通り 『青空に泳ぐ』

入曾7班 谷村 享二氏 提供

2023
5
MAY

目次	● 表紙(写真と目次)..... (1)
	● 令和5年度事業計画..... (2) ~ (3)
	● 理事会・新会員紹介..... (4)
	● 働く仲間・私..... (5)
	● フレイル予防教室..... (6)
	● 令和4年度第3回 心身機能・体力測定会..... (7)
	● 普通救命講習会受講報告..... (8)
	● 令和5年度部会事業計画..... (9)
	● 親睦会活動報告(女性限定バス旅行・散策)..... (10) ~ (11)
	● 入間川クリーン作戦・文芸コーナー・募集のお知らせ..... (12)

令和5年度 事業計画

I 基本方針

少子高齢化と人口減少が進む中、人生100年時代と言われ、働く意欲のある高齢者がその経験や能力を発揮して生涯現役で活躍できる社会の実現が求められています。このため、国においては高齢者雇用に関する様々な取り組みが進められており、その一つに、企業における70歳までの就業確保措置が努力義務とされています。また、シルバー人材センターにおいても、人手不足分野等での多様なニーズに応じた就業機会の拡大や人材確保等積極的な取り組みが求められています。

このような中、本年10月には消費税における「適格請求書等保存方式(インボイス制度)」の導入が控えており、シルバー人材センターの運営にとって大きな影響を受けることが懸念されています。

このように、シルバー人材センターを取り巻く環境は大きく変化しており、当センターにおいては、会員の高齢化や会員数の減少傾向など楽観できない状況が続いています。また、コロナ禍の影響は現在も継続しており、契約額や収支状況等では回復傾向にはあるもののコロナ禍以前の水準にまでは戻っていない状況となっています。依然としてセンターにとっての状況は厳しいものがありますが、引き続き会員拡大の推進や退会抑制のための多様な就業機会の拡大・確保が重要であり必要になっています。

これらのことを踏まえて令和5年度は、シルバー人材センターの基本理念である「自主、自立、共働、共助」のもと、「会員の拡大」「就業場所の確保」「安全就業の推進」を基本とし、会員の働きがい、生きがいの充実を目指します。

II 活動指針

1. 新規会員加入促進

センター事業を円滑かつ安定的に行うためには会員加入の促進が必要であることから、次の施策を実施します。

①会員募集説明会の拡大実施【継続】

センターでの開催に加え、出張説明会を実施します。

②自治会等への働きかけ【継続】

自治会等に対してシルバー会員募集の広報活動を行います。

③女性会員の募集強化【拡大】

女性限定の説明会や女性会員が未入会の仲間を誘って参加できるイベントの実施など女性が入会しやすい環境づくりを進めます。

④広報媒体の活用【拡大】

市の広報紙や新聞等の折り込みチラシを活用するとともに、SNSを利用した会員加入のPR活動を推進します。

2. 就業開拓の推進

財政基盤の強化・会員の増強には、就業先の確保・受注量の増加が不可欠なことから、就業開拓の推進に向け、次の施策を実施します。

①就業機会の確保【継続】

事業所や一般家庭へのチラシの配布などを通じ、新たな顧客の獲得に努めます。

②介護保険事業の強化【継続】

介護予防・日常生活支援総合事業については、事業スタッフの組織化を図り、更なる事業の拡大発展に努めます。

③フレイル予防教室の開催【継続】

「健康寿命をのばそう！」を合言葉にフレイル予防教室の展開・強化に努めます。

④役員による企業訪問【継続】

企業等に出向き、需要が見込める新規事業所などを積極的に開拓します。

3. 安全・適正就業の推進と事故防止対策

安全就業は全会員の願いであり、会員が安全に就業できるよう安全意識の高揚と事故防止を目的として、次の事業を行います。

①安全・適正就業教育等【継続】

安全及び適正就業講習会の開催など年間事業の一環として各種講習会を開催します。

②安全パトロールの強化【継続】

定期、不定期に就業現場を訪問し、安全パトロールを実施します。

③特定健康診査受診の奨励【継続】

会員が健康で就業できるよう100%の受診率を目指します。

④体力測定会の実施【継続】

自らの体力を知ることが安全就業への近道です。全員参加型の体力測定会を継続して実施します。

⑤安全・適正就業マニュアルの順守【継続】

安全・適正就業マニュアルの確認と徹底を図ります。

4. 地域貢献活動の推進

「公益法人」としての使命を認識し、地域への貢献活動に積極的に参加します。

①公共的催事への積極的参加【継続】

七夕まつりや商工祭等の公共的催事に積極的に参加します。

②地区行事への参加【継続】

元気プラザでの催事等に参加するとともに各地区の行事に参加し、センターの知名度の向上を図るとともに地区との交流を図ります。

5. 会員の相互交流

センター会員相互の交流を図るため、次の事業を実施します。

①会員作品展の開催【継続】

会員の特技趣味を生かした会員作品展を開催します。

②会員親睦組織への協力支援【継続】

会員の居場所づくりのため、親睦会組織へ協力支援します。

6. 事務局体制等

センター事務局は、事業を円滑に進めるため、適正な人員配置の下で業務の執行に努めます。

①理事の役割の強化【継続】

埼玉県シルバー人材センター連合等が開催する理事研修会及び講習会等に積極的に参加し、研鑽に努めます。

②他市町のシルバー人材センターとの交流【継続】

他センターとの交流・情報交換に努め、事業運営の充実を図ります。

③個人情報の保護の徹底【継続】

特定個人情報を始めとするセンターが保有する個人情報の漏えい、滅失、き損の防止など法令の順守と研修体制の強化に努め管理の徹底を図ります。

④経費の削減【継続】

事務経費や管理費をよく精査し、効率の良い事業運営に努めます。

理事会

第7回理事会 12月20日(火)

◎議題

- (1)正会員の入会の承認について
- (2)令和4年度収支補正予算について

(3)公益社団法人狭山市シルバー人材センター事務費規程の一部を改正する規程(案)

- (4)事業報告会について
- (5)配分金の振込手数料について
- (6)12月支給に係る期末手当の支給について

- (7)その他

◎報告

- (1)会員の11月度事業実績について
- (2)11月度事業実績について
- (3)11月度月次収支報告について
- (4)部会報告
- (5)公共的業務に関する令和5年度4月の就業調整の取り扱いについて
- (6)さいたま税理士法人の中間の会計確認について
- (7)その他

第8回理事会 2月21日(火)

◎議題

- (1)正会員の入会の承認について
- (2)令和4年度収支補正予算について

令和5年度 部会名簿一覧表

部会	構成員
総務 財政	◎中谷勝己 ○小沢万司 清原英雄 室井 豊 神山孝之
就業	◎神岡守忠 ○山本八四郎 宮澤弘子 室井 豊 神山孝之
安全	◎小口辰夫 ○兼平春雄 室井 豊 神山孝之
広報	◎近藤俊則 ○土田 盈 大内輝夫 室井 豊 神山孝之

※◎部会長 ○副部会長

- (3)令和5年度事業計画(案)について
- (4)令和5年度収支予算(案)について
- (5)令和5年度定時総会の日・場所及び議決権行使の可否について
- (6)役員賠償責任保険の加入について
- (7)嘱託職員の処遇について
- (8)その他

◎報告

- (1)会員の1月入会承認結果について
- (2)1月度事業実績について
- (3)1月度月次収支報告について
- (4)部会報告
- (5)その他

新会員紹介

令和4年12月～令和5年3月

(班) (氏名)

6	奥富地区	安部千利	高橋通子	岩田幸子	鈴木正昭	大谷美津江	堀兼地区	4	大谷美津江	加藤時男	青木キヨノ	吉本政雄	林喜子	前田志保	藤井静江	室岡俊雄	1	入曾地区	12	福田明子	12	福田英雄	10	佐々木則寛	10	澤口美智子	3	三芳行雄	2	森下徹	1	斎藤修司	9	入間川東地区	9	鳴海すみ子	7	小笠原安吉	7	入間川西地区	6	小笠原安吉	4	山崎賢次	4	佐藤克美	3	松宮浩二	1	石井恭子	1	柏原地区	8	堀越和夫	7	小星美喜男	5	八木一江	4	横山朗雄	3	吉野孝悟	3	神頭利明	2	飯野きぬえ	2	土崎昇	1	笹谷孝夫	1	三上晴子	1	岡上剛	14	伊藤須未江	13	金子幸生	13	水崎知恵乃	12	長澤信男	12	藤岡康生	8	吉田秀明	7	吉上謙一	6	小林通子	2	高橋功	1	田村功	6	水富地区	6	田村功	4	山崎賢次	4	佐藤克美	3	松宮浩二	1	石井恭子
---	------	------	------	------	------	-------	------	---	-------	------	-------	------	-----	------	------	------	---	------	----	------	----	------	----	-------	----	-------	---	------	---	-----	---	------	---	--------	---	-------	---	-------	---	--------	---	-------	---	------	---	------	---	------	---	------	---	------	---	------	---	-------	---	------	---	------	---	------	---	------	---	-------	---	-----	---	------	---	------	---	-----	----	-------	----	------	----	-------	----	------	----	------	---	------	---	------	---	------	---	-----	---	-----	---	------	---	-----	---	------	---	------	---	------	---	------

働く仲間

入間川小学校 児童見守り業務



入間川東11班
鏡 忠光

私達の業務は一言で言えば、児童の健全育成の手助けに資することである。つまり、交通事故や犯罪防止等である。従って、一年生の下校する児童を学校から保護者に引渡しをするまでが主業務である。

この業務は私以下6名(男性5名、女性1名)体制で行っており、児童の下校するコースにより、1コース、2コースそして3コースの3つのコースにそれぞれ分かれている。1コースを1名が担当することによって、1日3名のローテーションを組み、その間他の3名は業務「休みの日」となる。
なお、1日の業務内容は、出勤時間が予め学校側から知らせていただいている下校予定表に基づき下校時間の15分前と決まっており、出勤するや否や、学校側に出勤の挨拶等をし、児童の下校を待つことになる。
すると、5分前行動で児童が出入り口からカバン等をしよってゾロゾロと出てくる。
そして、各地区班及び学童教室ごとに壁に貼ってある紙のところへ行って各人整列をする。

1年生は3学級で3名の担任先生による点呼が整列したその場で行われ、その後3コースから順次下校の途につくのである。

その際私達も各コースごと児童に同道することになる。
また、私達のコース設定については、2ヶ月位前に計画しておき、学校側からの共有事等には常時臨機応変に対応できる態勢にしている。

学校を出て途中

- 一、交通事故及び転倒事故等に注意
 - 一、1〜2回水分補給
 - 一、通学路における「110番の家」確認
 - 一、歩行中の児童の整列状況
- 等に目を配りながら、保護者の待つ自宅方向等へ進んでいくのである。
最後に、自宅に帰る途中の児童の笑顔は、1日の学校生活が終わった安堵感で目が輝き美しく、それが成長の証であり、同時に一助を感じる次第である。



入間川小学校中庭



見守り風景



大仲 綾子



小菅 三男



岩澤 忠



山崎 崇久



大平 尚哉

私



入曾 16 班
木塚 利夫

はじめまして。

近々クリーン作戦が始まりますが、是非とも皆様のご参加をお願い致します。

私も荷物の運転手を数年努めておりましたが、今は皆さんと一緒に作業に参加していません。私が参加したころは、100名位参加していましたが、最近の参加者は50〜60名位に減りました。高齢化のせいでしょうか……。私は昭和43年2月に狭山に移転してきました。当時の西武線は単線でしたし、駅も平屋建てで、駅名も「入間川」でした。狭山台団地もできていなかったです。緑が多くてとてもきれいでステキな『田舎』だと思いました。かれこれ50数年間も狭山の地元にお世話になり、何か少しでもお手伝いをする事がないかと思いつきながらシルバー人材センターに登録して、派遣社員として数年勤めて今は植木班に所属していて、先輩方に丁寧に指導していただき、一般家庭や企業の植木剪定や庭の手入れを行っております。地元の自治会の方では防災の会員として参加させていただいております。

今は週一でボーリングを楽しんでおります。また月一でカラオケに行っています。早くコロナが終息して、旅行(コロナ前は友人達と年に4〜5回行っていました)に行きたいな〜と思っています。今日この頃です。

シルバー人材センターの仕事は定年がないので身体が動く限り、頑張りたいと思っています。これからもよろしくお願ひします。

フレイル予防教室
 (10月8日、11月1日)
3回コースを受けて



狭山台4班
児島恵津子

誰でも自分はいくつになっても元氣と思っているでしょう。実は白髪の女性を見かけると回りの人は、『どこか悪いところはないのですか』と来る。「頭、顔ひざ」と答える。次に、『薬は飲んでいませんか』と。『はい、ビールと芋焼酎』と答えている。こんな私です。この度の講座を受講して感じたことを書きました。

フレイルとは、年齢とともに心身の活力、筋力と認知機能など低下して要介護に近づくことでした。それを「栄養」、「体力」、「社会参加」の3本の矢でしっかり対策すること。講座は運動プログラム40分、栄養プログラム20分、社会プログラム30分と座学が主です。運動プログラムは準備運動、コーディネーション運動(じゃんけん)、ストレッチ、筋力運動。座つてする運動はストレッチ筋力運動です。筋力への効果を実践するものでじつと汗が出てくるくらい習慣づけて体力を保つというこ

栄養プログラムは多くの資料を黒板に貼って問題形式でした。骨を強くする食品、筋肉を増やす食品の解説は楽しい内容でした。若い時は肉類を食べて太ると言われ敬遠しましたが、シルバー世代は多様な食品を毎日きちんと食べ、栄養不足をしないこと。肉類は絶対必要。フレイルを防ぎ健康長寿には1日3食、1日10品目(卵、海藻、緑黄色野菜、果物、油脂、牛乳・乳製品、大豆や大豆製品、肉類、魚介類、いも類)が毎日摂れているかチェックも必要です。最後に社会参加です。家にも外に出よう。1日1回は外出して人との会話を楽しむこと。私は平安文学の会、狭山語りの会、演劇を楽しむ会、食べ歩き五女会といういろいろ出かけています。

受講するまでは、体操する講座と思っていました。そんなことは全然なく、シルバーの生き方を学べる内容でした。

私の感想だけでは理解できないと思います。皆さんぜひ1回参加してください。

シルバーで働いて10年、1日2時間、ひと月10回程度、2人でシェアしていますので、お金は少ないのですが、多くの人と会話でき飲み代もいだけあります。その上こんな内容の講座があります。そして親切なおスタッフ、講師が揃っています。是非参加してください。よろしくお願ひします。

フレイル予防の3本の矢



①体力
 運動の習慣づけ、体力を保つ!!



②栄養
 色々食べて、栄養をしっかり!!



③社会参加
 家にもらず、外に出よう!!



フレイル講義



フレイル自己診断



ストレッチ

令和4年度第3回
心身機能・体力測定会
 1回9時〜10時・2回10時〜11時

シルバー人材センターでは、就業寿命や健康寿命の延伸への取組として、フレイル予防教室を開催しています。また、この教室の参加による成果を測るため教室開始の前後に心身機能・体力測定を実施しています。

今回の測定会は、皆さんの現状の体力等を知ってもらうためにフレイル教室と切り離し、単独で開催するもので、本年度3回目を3月29日に実施しました。今回は2回に分け12人、今年度で延40人の方にご参加いただきました。

初めに、室井副理事長から、フレイルって何?なぜフレイル予防が重要なのか?といったことについて、説明があり、いよいよ始まりました。

まずは、フレイルチェック。体力6問、栄養4問、社会参加5問の15の質問に「はい」「いいえ」で答えます。これで介護が必要な状態になりにくいかがわかります。

つぎに、栄養チェック、社会面チェック、認知機能チェックと現在の状況を確認します。

そして、最後は、体力チェックです。これは、通常歩行速度テスト、握力テスト、5回いす立ち座りテスト、アップアンドゴーテスト、閉眼バランステスト、ステッピングテストの6項目を測定しました。定期的に参加することで、心身機能の変化が分かり、日常生活の指標になると考えます。

会員の皆さんも、定期的に病院の検査や市の健康診断を受けていると思いますが、来年度も定期的に参加予定ですので、これらと同じ感覚でぜひご参加ください。ご自身が「あれっ!」と思った時はじめ時です。

狭山市シルバー
 人材センター 事務局



受付 1回:8:45~9:00
 2回:9:45~10:00



測定会の趣旨説明



フレイルチェック、栄養チェック、社会面チェック、認知機能チェック



通常歩行速度テスト



握力テスト



5回椅子立ち座りテスト



アップアンドゴーテスト



閉眼バランステスト



ステップテスト

普通救命講習会

令和 4 年 11 月 7 日に狭山消防署 (R16 号治い) で「普通救命講習会」が開催されました。参加者はシルバーの関係者 21 名。最初にビデオによる基礎知識の学習。2 人 1 組 (一部 3 人) の 10 班に分かれて、人形を用いての心肺蘇生法 (人口呼吸、胸骨圧迫 (心臓マッサージ)) と AED 使用の実技講習が行われ、大変有意義な講習会でした。実際の場面に遭遇したら、勇気を持って対応する事が重要です。今回の講習内容を紹介致します。

- (1) 異物を喉に詰まらせた時の処置
① 背面叩打法
患者を下向きにし、上部を腕で持ち上げ、左右肩甲骨のほぼ中央部を力いっぱい叩打する。
 - ② 腹部突き上げ法 (妊婦、乳幼児は不可)
後ろから患者を抱え、両手を組んで腹部を力いっぱい突き上げる。
- ※世の中で、「掃除機で異物を吸い出す」との話があるが、危険が伴うので止めて欲しいとの事です。
- ③ 回復体位
患者の呼吸気道確保及び嘔吐時

嘔吐物が喉に詰まらない様に体を横にし、顔を下に向ける。

(2) 心肺蘇生法の手順

① 患者の廻りの安全を確認する。人を呼んで、救急車、AED の手配をお願いする。

患者の廻りが危険な場合、安全な場所に移動する。

② 呼吸の状態を確認し、通常呼吸をしていなければ、胸骨圧迫 (100~120 回/分) を 30 回 + 人口呼吸 2 回 (患者の口から息を吹き込む) を繰り返し行ない、救急隊が来る迄続ける。2 分毎の AED 解析で交代が望ましい。

③ 胸骨圧迫は体力を必要とする対応なので、複数の人が交代しながら続ける。

④ AED が届いたら、AED の音声ガイド (カバーを開くと作動する) に従い、電気ショックを与える。

※以前は、「呼吸の有無、脈等の確認」と習ったが、「通常呼吸有無で判断。『脈の確認』は難しく、実際的にはない場合があるとの事。

※ AED のパッドを貼ったら、救急隊が来ても剥がしてはいけません。

安全部会・広報部会



講義風景



腹部突き上げ法



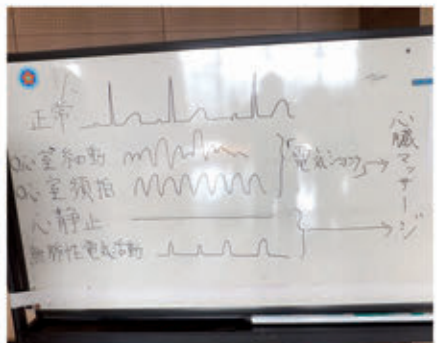
回復体位



胸骨圧迫心臓マッサージ



AED 操作



心電図 (脈) の説明図

令和5年度 部会事業計画

シルバー人材センター基本理念

自主(センターを私たちのものとして考えます)
 自立(センターを私たちの力で育てます)
 共働(私たちは会員は共に仲良く働きます)
 共助(私たち会員は互いに助け合います)

1. 各部会の主要な使命

- ①総務財政部会
 - ・センターの組織及び事務局に関する事
 - ・予算、決算その他財政に関する事
 - ・センターの入会説明、面談会の運営に関する事
 - ・会員の拡充に関する事
- ②就業部会
 - ・就業開拓及び就業率向上に関する事
 - ・会員の適正な就業と公平な就業機会の提供に関する事
 - ・女性会員の会員比率向上に関する事
- ③安全部会
 - ・会員の安全意識の啓蒙に関する事
 - ・安全パトロール等の実施に関する事
 - ・事故・怪我等の原因解析と対策に関する事
- ④広報部会
 - ・シルバー狭山広報紙の編集、発行に関する事
 - ・各種PR項目の広報紙への展開に関する事

2. 令和5年度の各部会事業計画

部会	目標	活動内容	実施時期・頻度
総務財政	<ul style="list-style-type: none"> ・入会面談会の実施 ・会員の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバーの内容を理解して頂き、入会促進を図る。 ・会員増への検討 会員募集のチラシ配布。会員紹介キャンペーン実施。 ・退会防止への対応検討。 10年経過会員への表彰制度を提案。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月実施。 ・1～2回実施。 ・年内に実施。
就業	<ul style="list-style-type: none"> ・就業先等のトラブル防止 ・会員のマナー向上 ・就業開拓の実施 ・女性会員活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・「接遇研修」(新会員必須)の実施。 ・外部講師による「接遇研修」実施。 ・関連各機関への就業獲得の為訪問&チラシ配布。 ・親睦会、各種団体と連携し、各種行事への参画推進。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の入会時に実施。 ・2回程度 ・2回程度 ・商工祭、親睦会活動等の参加を促進する。
安全	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生数20件以下 ・事故究明と再発防止 ・安全意識の啓蒙 ・新規会員の安全教育 ・【安全教育・研修】実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全パトロール実施(昨年度事故発生頻度大の職場) ・分析票及び特性要因図で究明を図る ・安全標語の募集、安全講習会の実施 ・入会時、全員に実施。 ・入会5年経過の就業会員対象 	<ul style="list-style-type: none"> ・8回以上 ・事故発生の都度実施 ・講習会1回以上 ・毎月実施 ・令和5年度から実施
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・広報担当者の引継ぎ →シルバー狭山広報紙の確実な発行を確保 ・広報紙のレベルアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報担当者変更に対し、確実な業務の引継ぎを行う。 →速報版、シルバー狭山(1、5、9月号)の確実な発行。 ・昨年の問題点の改善&作成マニュアルへの展開 →広報紙のレベルアップに繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・速報版：～6/末。 ・シルバー狭山：～8/末。 ・マニュアル改正：～12/末。

**親睦会活動報告 女性限定
ふかや花園アウトレット&
聖天宮巡るバス旅行**

全国に先駆け東京で桜の開花宣言が出された3月14日、はじめて女性だけのバス旅を計画し、「ふかや花園アウトレット」方面を巡ってきました。

和気あいあい、ゆったりとした雰囲気の中、最初の目的地「高麗神社」に到着。熱心な案内人の説明で、神社の由来や国指定の重要文化財「高麗家住宅」を見学することが出来ました。

畑の中に突然現れる、まるで台湾にきたかのような美しい造りの「五千頭の籠」が登る「聖天宮」はお宮全体に龍の彫刻があり、その豪華さに圧倒されました。台湾の方が個人で開廟したとの説明に驚きつつ、「たんけんチエツクシート」を片手に見学。

昼食後、昨年10月にオープンした、「ふかや花園プレミアムアウトレット」へ……。

見るだけでも楽しいファッション・スポーツ・生活雑貨のブランド店がずらりと並び、それぞれ思い思いのショッピングをして最後に訪れたのは、「ヘレン・ケラー」が師と仰ぎ、「さいたま郷土かるた」に、「見えずとも心で学ぶ塙保己一」と詠まれた盲目の国学者

を記念した「塙保己一記念館」。40数年かけてまとめた「群書類従(666冊)」や、遺品、関係資料を見学した後は、高坂SAで買い物、休息をして帰途に着きました。

「楽しかった!!」「女性だけ、いいよね!!」の声にスタッフ一同感謝です。

皆さんお疲れ様でした。

シルバー親睦会担当



狭山市駅東口 8:30 さあ出発



高麗神社 神職の説明 9:10 ~ 9:45



高麗神社 拝殿でお参り



高麗神社 將軍塚チャンスン前で



聖天宮 絢爛豪華な天門



聖天宮 前庭で説明 10:25 ~ 11:10



聖天宮 九龍柱



はなぞのアウトレット 12:55 ~ 15:15



塙保己一記念館前で 15:45 ~ 16:25



塙保己一記念館 DVD で説明



自販機も塙保己一

親睦会活動報告
桜の花咲く狭山湖&
トトロの森ゆったり散策

4月1日、狭山市駅から西所沢駅・西所沢駅と電車を乗り継ぎ、西武球場前で下車。

早速、最初の目的地西武ライオンズが毎年必勝祈願を行う寺として知られている「狭山不動尊」で散策の無事を祈願しました。

奈良時代に開かれた古刹「山口観音」では、仏国窟や本堂の壁についているプレイングベル(祈願用の鐘)を回しつつ、ご本尊の千手観音菩薩は33年に一度の御開帳のため、常時御開帳されている千手観音を小さな窓から拝観し、境内で所沢名物の焼き団子で小休憩モグモグタイム。

東京都の水がめとして作られた山口貯水池(狭山湖)の「狭山湖堰堤」では、富士山や奥多摩の山々が一望でき、貯水塔を背景に記念撮影。

湖畔で羽を休める水鳥を眺めながら思い思いに昼食休息し、まるでどこかの山奥に迷い込んだ様な錯覚を覚える「トトロの森」や「緑のトラスト・里山保全地域」はナラ枯れが心配されている森ですが、豊かな緑・草花に癒された一日でした。

シルバー親睦会担当



狭山市駅西口集合 9:00



山口千手観音入口



山口観音本堂前 弘法大師像



山口観音本堂境内
焼き団子モグモグタイム



千手観音堂



千手観音堂境内 集合写真



狭山湖畔で昼食 11:15 ~ 12:30



狭山湖畔 集合写真



トトロの森



トトロの森の中 堀口天満天神社



西武球場前で解散 14:00

親睦会員募集中

詳細については下記まで
お問い合わせください

親睦会事務局 小島

電話: 04-2935-4312

E-mail: sayama-3@sjc.ne.jp

入間川クリーン作戦

令和5年3月4日(土) 午前、市役所環境課主催の入間川クリーン作戦にセンター役員と事務局職員の有志がお揃いのジャンパーを着て参加しました。

「入間川河川敷をみんなできれいにしよう」の掛けの下、大勢の参加者が河川敷に散乱しているゴミを拾って歩きました。

当日は、晴れ渡る青空の下、風もなく絶好のお天気となり、皆それぞれに清々しい汗をかきました。作業を終えるころには河川敷もきれいになり参加者の素晴らしい笑顔があふれていました。

狭山市シルバー人材センター

会員募集中



お知り合いをご紹介ください



文芸コーナー

短歌

水富二班 大阿久芳胤

立ち合いて生者必滅

わきまえる

他人事でなく

身に染みて知る

消費税廃業の危機

インボイス

就労支援確と届くける

お節介

独りよがりの人助け

答え探しの おらが人生

俳句

伊藤 薫

細き落煮つけて酒が

進む夜

小梅摘む妻の脚立を

支へをり

赤白の躑躅鳥居の右ひだり

蕾つく稲荷山

桜もうすぐ花見

この広報は地域班長さんの協力により会員のみなさんに配付されています。

写真&文章 募集のお知らせ

- ・シルバー狭山(9月号、1月号)の表紙を飾る写真を提供お願いします。
- ・何か面白いお話が有りましたら、原稿600〜700字程度の文章提供お願いします。
- ・テーマは旅行・趣味・健康等、何でもOK。
- ・その他、PRしたい物。

※写真&文章は、可能であれば電子ファイルで頂ければ助かります。
※その他、不明な点がありましたらお問い合わせをお願いします。

応募方法

- ①シルバー人材広報部引出しに投函。
- ②広報部 近藤俊則へ連絡。
 - ・携帯 TEL 090-2414-7596
 - ・E-mail tk-paceri@ozzio.jp